

# 柳瀬新田・大溝新田地区の 景観まちづくり

※蓋の縞模様は、伝統工芸品の「松阪木綿」柄です

令和5年度号  
No.1

令和5年10月 発行  
松阪市建設部都市計画課



## 松阪市景観計画を進めています。

松阪市では美しく豊かな景観を、かけがえのない市民共通の資産として、誇りと愛着の持てる郷土づくりを実現するため、松阪市景観計画を進めています。

その中で、良好な景観の形成が特に必要な地区を重点地区に指定し、市民の皆様にも「もっともっと松阪市の景観を好きになってほしい」との想いで、まちなみ保全に取り組んでいます。

令和5年4月に松阪市景観計画の改定が行われ、柳瀬新田・大溝新田地区が重点地区（候補）に追加されました。

柳瀬新田・大溝新田地区一帯の広い茶畑は、地域を代表する景観になるため、この地区の特性や価値を知っていただけるよう、今後も啓発を進めていきます。

※重点地区（候補）に追加されたことによる建築制限などはなく、候補地区指定前と変わりはありません。



## 茶畑の緑が美しい柳瀬新田・大溝新田について

柳瀬新田・大溝新田は、櫛田川沿いの山間部の傾斜地に位置し、寒暖差や水はけの良い石地の緩傾斜に広がる地形など、おいしい茶葉を栽培するための良好な自然条件を兼ね備え、県内有数の上質な深蒸し煎茶の産地となっています。

清流・櫛田川の清らかな水や川霧の恵みと山間部の澄み切った空気に育まれたお茶、そして、その緑広がる茶畑の景観は、地区の自慢であるとともに、松阪市を代表する文化的景観として高く評価されています。

当地で生産される深蒸し煎茶は、蒸す過程で長く蒸すことで成分が浸出しやすく、色が濃く、ほどよい渋みで苦みの少ないまろやかなお茶が栽培されており「関西茶品評会」の深蒸し煎茶の部門で、市町村毎に与えられる産地賞に、松阪市が第1位を連続受賞するなど、高い評価をいただいています。



(写真: 三重フォトギャラリー)

### 松阪市飯南茶業伝承館

松阪市飯南茶業伝承館は、茶業振興と茶製造技術の伝承を図るとともに、お茶の歴史と茶情報の発信の拠点とするため設置された施設で、お茶の淹れ方・手もみ体験教室などを行っています。



## 市内では4地区が重点地区に指定されています！

松阪市では、市を代表する良好な景観特性を有し、特に景観保全に努めていく必要がある地区を『重点地区』として指定しています。

重点地区とは、住民、事業者、行政が一体となり、地区の美しい景観を守り、将来にひきついでいくため、市の景観計画に位置づけられた地区のことをいいます。現在、市内4箇所が重点地区に指定されており、地区特有の歴史的まちなみを保全するとともに地区間の交流活動や、住民によるまちなみの保全活動、行灯の点灯などまちなみの演出、地区の歴史や偉人の探求活動など様々な景観まちづくり活動が行われています。

### 【重点地区の位置】



A 通り本町・魚町一丁目周辺地区



B 市場庄地区



C 松坂城跡周辺地区



### 当地区以外の重点地区（候補）を紹介します！

#### G 波瀬周辺地区

街道筋には、旧波瀬本陣や旧脇本陣の建物が残り、宿場町として栄えた往時を偲ぶ歴史的まちなみが今もみられます。



#### J 大石町谷地区

山の斜面に芸術的な石積みの棚田を見ることができます。先人の技術と後継者の努力によって脈々と引き継がれています。



#### H 深野棚田地区

白猪山麓に位置し、深野だんだん田として、山の斜面に120段を数える芸術的な石積みの棚田を見ることができます。



#### K 相津地区

黒を基調とした下見板張りの主屋や離れ、土蔵、塀などで構成された建物と大きな屋敷地からなる歴史的景観があります。

